

令和 6 年度

「運営に関する計画・自己評価（最終評価）」
及び「学校関係者評価報告書」

大阪市立海老江西幼稚園

令和 7 年 2 月

大阪市立海老江西幼稚園 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本園は、全園児 16 名の小規模園である。各学年単学級で少人数クラスのため、友達関係を広げる難しさがある。そのため、教師が意図的に人間関係を広げる機会をもち、いろいろな人と関わる力を育む活動を取り入れた教育を進めている。また、併設園であることを生かし、小学生との交流活動の充実、小学校教員と連携した安全教育を推進している。

しかし、園庭使用時間に制限があることや園舎内に空き部屋がなく本棚を置くスペースも限られ、就学前教育カリキュラムに沿った運動遊びや読書活動をどのように推進していくかが大きな課題である。安全教育や読書活動、基本的生活習慣の確立など、保護者への啓発に努め、家庭と連携して進めていくことで、より成果を高めていきたい。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- ① 令和 7 年度末の保護者アンケート調査で「子どもは生活の中で安全に過ごそうとする習慣が身に付いてきたと思いますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を 90%以上にする。
- ② 令和 7 年度末の保護者アンケート調査で「幼稚園は子どもたちが互いの良さを認め合えるような指導をしていますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を 90%以上にする。

③

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 令和 7 年度末の保護者アンケート調査で「幼稚園は、子どもが様々な経験を楽しめるように努めていますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を 90%以上にする。
- ② 令和 7 年度末の保護者アンケート調査で「年度当初と比べて子どもは基本的生活習慣が身に付いたと感じますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を 90%以上にする。

③

【学びを支える教育環境の充実】

- ① 令和 7 年度末の保護者アンケート調査で「幼稚園は子ども一人一人を大切に理解しようとしていますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を 90%以上にする。
- ② 令和 7 年度末の保護者アンケート調査で「子どもたちは絵本に関心や親しみをもっていますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を 90%以上にする。
- ④ 令和 7 年度末の保護者アンケート調査で「子どもたちはいろいろな人と関わる中で、人への親しみや関わることを喜んでいますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を 90%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

学校園の年度目標

- ① 令和6年度末の保護者アンケート調査で「子どもは生活の中で安全に過ごそうとする習慣が身に付いてきたと思いますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を80～85%以上にする。
- ② 令和6年度末の保護者アンケート調査で「幼稚園は子どもたちが互いの良さを認め合えるような指導をしていますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を80～85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

学校園の年度目標

- ① 令和6年度末の保護者アンケート調査で「幼稚園は、子どもが様々な経験を楽しめるように努めていますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を85%以上にする。
- ② 令和6年度末の保護者アンケート調査で「年度当初と比べて子どもは基本的な生活習慣が身に付いたと感じますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

学校園の年度目標

- ① 令和6年度末の保護者アンケート調査で「幼稚園は子ども一人一人を大切に理解しようとしていますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を85%以上にする。
- ② 令和6年度末の保護者アンケート調査で「子どもたちは絵本に関心や親しみをもっていますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を85%以上にする。
- ③ 令和6年度末の保護者アンケート調査で「子どもたちはいろいろな人と関わる中で、人への親しみや関わることを喜んでいますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を85%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

○保護者アンケートにおいて、全ての項目について、肯定的な評価を得ることができた。今後もそれを維持していく。教育内容の充実のために、評価を次に生かしていきながら、取り組んでいきたい。

○併設園の良さを生かし、海老江西小学校との交流活動の充実を図ることができた。様々な学年の小学生と関わる経験や小学校進学への期待など、併設園の特色を生かし交流活動を積み重ねることができた。今後、小学校かけはし期の教育について、小学校教員と一緒に考えていくきっかけとなるよう取り組んでいきたい。

(様式2)

大阪市立海老江西幼稚園 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

| | | |
|------|----------------------|-------------------------|
| 評価基準 | A: 目標を上回って達成した | B: 目標どおりに達成した |
| | C: 取り組んだが目標を達成できなかった | D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標 | 達成状況 |
|--|------|
| 【安全・安心な教育の推進】 学校の年度目標 ① 今年度末の保護者アンケート調査で「子どもは生活の中で安全に過ごそうとする習慣が身に付いてきたと思いますか。」という項目について「そう思う(どちらかといえばそう思う)」との回答を80～85%以上にする。 ② 今年度末の保護者アンケート調査で「幼稚園は子どもたちが互いの良さを認め合えるような指導をしていますか。」という項目について「そう思う(どちらかといえばそう思う)」との回答を80～85%以上にする。 | B |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|--|------|
| 取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 安全に過ごそうとする気持ちを育てる。 指標・様々な想定と実態に即した避難訓練や安全指導を、年6回以上実施する。 ・安全に関する視覚教材を掲示し、身の守り方について知らせる。 | B |
| 取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】 子ども一人一人の実態を把握し、互いの良さを認め合えるような指導を行う。 指標・特別支援教育園内委員会を学期に1回実施し、専門的な知識を深める。 ・日々の子どもの実態を把握し、教職員間で情報を共有する。 | B |
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 | |
| 【年度評価】について ① 1月の保護者アンケート調査で「子どもは生活の中で安全に過ごそうとする習慣が身に付いてきたと思いますか。」という項目について「そう思う(どちらかといえばそう思う)」との回答が、「そう思う」70%、「どちらかといえばそう思う」30%、合計100%であった。 ② 1月の保護者アンケート調査で「幼稚園は子どもたちが互いの良さを認め合えるような指導をしていますか。」という項目について「そう思う(どちらかといえばそう思う)」との回答が、「そう思う」88%、「どちらかといえばそう思う」12%、合計100%であった。 【取組内容】について 取組内容① ・火災、地震、津波、引き渡し訓練、防犯等の想定で年7回避難訓練を実施した。繰り返し行い、経験を積み重ねることで、命を守る行動をとれるようになった。また、教職員間で計画、打ち合わせ、実施後の反省をし、いろいろな想定に対応できるように検討したことで、教職員の防災に対する意識も高めることにつながった。 ・幼小合同避難訓練では、幼児に予告なしの訓練であったが、出火場所、避難場所の放送や教師の声をよく聞き、行動するなど実態に即した避難訓練を行えた。 ・引き渡し訓練では、保護者の方にコードモンでお知らせをしてから、小学校の多目的室までな | |

るべく徒歩でお迎えに来ていただいた。緊急時の対応を保護者とともに共通理解しながら、保護者の方も緊急時を想定したお迎えをしていただき、道路の危険な所や外壁などの確認、徒歩でお迎えに来る時の想定時間を知るきっかけとなった。

- ・実施ごとに、訓練している幼児の様子などを伝え、保護者とともに災害時の対応や危機管理への意識を高めるようにした。

取組内容②

- ・特別支援教育園内委員会は、年度当初に1回、各学期末に1回実施し、保育の打ち合わせを行う中で、支援を要する幼児について情報共有するよう工夫した。巡回指導や療育機関と連携し、幼児理解に努め、教職員間の資質向上につながった。また、教職員間で子どもの実態について情報共有し、支援方法や関わり方について様々な方法で共通理解を図ったりするよう努めたので、幼児理解を深めることができた。

今後への改善点

取組内容①

- ・今後も様々な訓練（火災、地震、防犯や教職員にも時間を知らせない など）に取り組み、常に危機管理への意識や命を守る行動がとれるようにしていきたい。

取組内容②

- ・引き続き、特別支援教育園内委員会を実施し、支援の方法や関わり方について教職員間で共通理解したり、学び合ったりする機会をもつ。
- ・子どもの実態についての情報共有を継続し、園全体で幼児理解に努める。

大阪市立海老江西幼稚園 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

| 年度目標 | 達成状況 |
|---|------|
| 【未来を切り拓く学力・体力の向上】 学校の年度目標 ① 今年度末の保護者アンケート調査で「幼稚園は、子どもが様々な経験を楽しめるように努めていますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を85%以上にする。 ② 今年度末の保護者アンケート調査で「年度当初と比べて子どもは基本的な生活習慣が身に付いたと感じますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を85%以上にする。 | A |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|--|------|
| 取組内容①【基本的な方向3 幼児教育の推進の質の向上】 【基本的な方向5 健やかな体の育成】 園内外の自然環境を活用し、子どもたちが身近な環境に好奇心や探求心をもって関わるような指導を行う。 指標・親子で活動する機会を工夫する。 ・就学前教育カリキュラムに基づき、月4回以上保育内容を検討し、見直す。 | A |
| 取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】 子どもたちに基本的な生活習慣が身に付くように指導、啓発を行う。 指標・毎月1回、基本的な生活習慣（食育等も含む）に関する保健指導を行う。 ・学期に1回げんき週間、年6回以上げんきカレンダーを実施する。 ・ほけんだよりや食育だより、HP等を通して、保護者啓発を行う。 | A |

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

| |
|---|
| 【年度評価】について ① 1月の保護者アンケート調査で「幼稚園は、子どもが様々な経験を楽しめるように努めていますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答が「そう思う」100%、「どちらかといえばそう思う」0%、合計100%であった。 ② 1月の保護者アンケート調査で「年度当初と比べて子どもは基本的な生活習慣が身に付いたと感じますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答が「そう思う」88%、「どちらかといえばそう思う」12%、合計100%であった。 |
| 【取組内容】について 取組内容① ・子どもの実態に合わせた、場の環境を検討したり、見直したりすることで、子どもたちが身近な環境に好奇心や、探求心をもてるよう保育を進めた。 ・園で飼育したチョウ、ダンゴムシ、カブトムシに興味を持ち、自分たちで世話をして大切に育てていた。幼虫から成虫になっていく過程を興味深く観察し、成長を喜ぶ姿が見られた。 ・保護者と一緒に植えた野菜や、幼稚園で植えた花や野菜に、毎日水やりをしたり、雑草を抜いて畑の整備をしたりすることで、日々生長していく様子を喜んでいた。また、自分たちで大切に育てた野菜を収穫して持ち帰ることにより、野菜への興味関心がさらに深まっていった。苦 |

手だった野菜を食べてみようという気持ちが芽生え、食べられなかったものが食べられるようになり、食育にもつながるきっかけとなった。

- ・5月に植えた、さつまいもの苗をみんなで世話をし、収穫した。日々大きくなっていくさつまいもの生長を喜び収穫し、大きさの違いを実際に手にして感じていた。さつまいもの蔓を使って、リースづくりをしたり、縄跳びや綱引きをしたりし、自然物を使って存分に遊べるように環境を整えた。
- ・2学期には、新たな花の球根を植えたり、冬野菜の苗を植えたり、種をまいたりした。1学期に、野菜や花を育てた経験から、積極的に雑草を抜いたり、水をあげたりし、日々生長する様子を観察して、喜ぶ姿が見られた。

取組内容②

- ・年間を通して、発育測定後や体重測定後に保健指導を実施した。10月は「生命（いのち）の安全教育 きもちってなあに」について、11月は、「3色食品群」について、12月は「感染症予防」について、1月は「手洗い実験」について、2月は「目の大切さ、メディアコントロール」についての話をした。
- ・11月に2回目の「げんき週間」を設定し、「食べ物」に関するクイズをげんきカレンダーで作成し、実施したことで、子どもたちの食に対する興味、関心を深めることができた。また、2月には「メディアコントロール」に関するげんきカレンダーを実施し、テレビやゲーム機、スマホ、タブレットなどデジタル機器の使用について保護者と一緒にルールや時間を守ること、子どもたちの大切な目の健康を守ることにつなげることができた。
- ・ほけんだよりを毎月配付した。保健指導に関連する内容や、その月に特に伝えておきたい内容で作成することで、園内だけでなく保護者に対しても子どもたちの健康の保持増進について情報を共有できるようにした。また、食育だよりを学期に1回配付することで、食育についての知識や食を安全に楽しむための知識などを啓発できるようにした。

今後への改善点

取組内容①

- ・来年度も、子どもたちが好奇心、探求心をもって自然と関われるように、保育内容を検討したり、環境を整えたりする。
- ・引き続き子どもの実態や発達に合わせ、一人一人にとってより良い保育になるように内容を検討し、見直していく。

取組内容②

- ・来年度も保健指導やげんき週間、げんきカレンダーを実施し、子どもたちが日常生活を通して、基本的な生活習慣を身に付けることができるように工夫する。また、園内だけでなく家庭との連携、協力が必要不可欠であるため、今後もほけんだよりや食育だより、HPの更新、保護者啓発などを定期的に行うことで、幼児の健康の保持増進に努める。

大阪市立海老江西幼稚園 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

| | | |
|------|---------------------|------------------------|
| 評価基準 | A：目標を上回って達成した | B：目標どおりに達成した |
| | C：取り組んだが目標を達成できなかった | D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標 | 達成状況 |
|--|------|
| 【学びを支える教育環境の充実】 学校の年度目標 ① 今年度末の保護者アンケート調査で「幼稚園は子ども一人一人を大切に理解しようとしていますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を85%以上にする。 ② 今年度末の保護者アンケート調査で「子どもたちは絵本に関心や親しみをもっていますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を85%以上にする。 ③ 今年度末の保護者アンケート調査で「子どもたちはいろいろな人と関わる中で、人への親しみや関わることを喜んでいきますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を85%以上にする。 | B |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|--|------|
| 取組内容①【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 一人一人が大切にされるクラス運営や関わりを大切にした保育技術の向上に努める。 指標・年3回以上、実践記録をとり、幼児理解に努める。 ・園内研究保育や研修を通して保育技術の向上に努める。 ・月に4回、保育の打ち合わせをする。 | B |
| 取組内容②【基本的な方向8 生涯学習の支援】 豊かな感性を育めるよう絵本に親しむ機会をもつ。 指標・週に3回、絵本の読み聞かせをして定期的に絵本コーナーの環境を見直す。 ・週1回絵本貸し出しを行い、月末に親子で絵本を借りる機会をつくり絵本に親しめるようにする。 ・小学校の図書室を活用し色々な本にふれあう。 | B |
| 取組内容③【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】 異校種や地域と連携しながら、身近な人と親しみ、いろいろな人との関りを楽しめるような教育活動を工夫する。 指標・学期に2回以上、いろいろな人と交流する機会をつくる。 ・月2回以上、ホームページや園だより等で教育活動について発信する。 | A |
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 | |
| 【年度評価】について ① 1月の保護者アンケート調査で「幼稚園は子ども一人一人を大切に理解しようとしていますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答が「そう思う」94%、「どちらかといえばそう思う」0%、合計94%であった。 ② 1月の保護者アンケート調査で「子どもたちは絵本に関心や親しみをもっていますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答が「そう思う」76%、 | |

「どちらかといえばそう思う」 24%、合計 100%であった。

- ③ 1月の保護者アンケート調査で「子どもたちはいろいろな人と関わる中で、人への親しみや関わることを喜んでいきますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答が「そう思う」94%、「どちらかといえばそう思う」6%、合計100%であった。

【取組内容】について

取組内容①

- ・定期的に実践記録をとり、子どもたちがどのようにかいたり、つくったりしながら、自分の思いを表現する楽しさを味わっているのかを教職員間で討議した。また、教師が環境を整え、子どもの思いに寄り添うことができるように努めた。
- ・月に4回保育の打ち合わせを実施し、各クラスの保育の流れを知ったり、話し合ったりした。普段から、教職員間で子どもの様子を共通理解する機会を設けることで、幼児理解に努め、保育に生かした。
- ・研修に参加したり、教育センターの指導員の方に、11月指導要請、指導要請後の11月と1月に保育や子どもたちの様子を見ていただいたりしたことで、保育について改めて見つめ直す機会となり、学んだことを保育に取り入れ、実践し保育の向上に努めた。

取組内容②

- ・普段から、好きな遊びの時や昼食後などに、自由に絵本を見られる環境を構成し、それぞれが読みたい絵本を選び楽しんでいる。
- ・活動の導入や降園前などの時間を活用し、週3回以上絵本の読み聞かせを行ったり、毎週の絵本の貸し出しや、月1回の親子での絵本の貸し出しを行ったりし、幼児が絵本に親しめるように取り組んできた。また、季節に合った内容を整えてきたことで、幼児もその時期ならではの絵本を選び楽しむ姿が見られた。
- ・1学期と2学期に1回ずつ小学校の図書室を利用させてもらった。幼児にとって難しい本もあったが、絵や写真を見て楽しんだり、教師に読んでもらったりしながら、幼稚園にはないいろいろな本を見たり読んだりした。また、幼稚園とは本の借り方などの違いにも気付きながら、様々な本に出会うことができた。

取組内容③

- ・未就園児活動、小学校、中学校、歯科衛生士専門学校、地域の祭り、長寿会などと、交流活動を行った。特に地域の祭りや長寿会との交流活動では、いろいろな人と関わる機会をもつことで、地域の方々に大切にされてきた幼稚園であるということを幼児が知るきっかけとなった。
- ・未就園児活動では、園児との交流を楽しみにする未就園児もあり、一緒に歌を歌ったり、ふれあい遊びを楽しんだりした。未就園児との関りは、幼児にとって自信につながっており、活動を意欲的に取り組むことにもつながった。
- ・海老江西小学校との交流では、年間を通していろいろな交流を行っている。小学生を身近に感じたり、憧れや信頼を寄せたりしている。交流活動が続けていくことや普段の小学生の生活の様子を見て触れることで、小学生への親しみや信頼、憧れの気持ちを強くもっている。また、交流活動を通して、小学校生活を垣間見ることができ、年長児は進学への期待も高まっている。
- ・親子遠足、親子苗植え、親子あいさつ当番など、保護者も一緒に参加してもらうことで、他の子どもを知る機会となり、保護者も一緒に子どもたちを温かく見守っている。

今後への改善点

取組内容①

- ・来年度も定期的に実践記録をとり、職員間で討議を重ね、幼児理解、保育向上に努める。
- ・引き続き、互いのクラスの保育の打ち合わせを密に行い、園全体で子ども一人一人の様子を共

通理解し、保育を進める。

- ・研修や指導要請などで学んだことを今後も保育に生かし、保育の資質向上に努める。

取組内容②

- ・自由に絵本を見ることができる環境を大切にしながら、季節に合わせて本を用意し、子どもたちが絵本や物語にふれあえるようにする。
- ・引き続き保育の中で絵本の読み聞かせを行い、見る力や聞く力を育めるよう読み聞かせをする際の環境構成を工夫する。
- ・行事予定等を教職員間で確認しながら、親子絵本貸し出しを毎月実施できるよう配慮する。また絵本コーナーの環境を定期的に見直す。
- ・絵本貸し出しや小学校の図書室を活用することで、子どもたちが主体的に絵本を見たり、ひらがなに興味関心をもったりする機会をつくる。また、絵本の返却時には、整理整頓の大切さを知らせたり、次に見る人が選びやすいように片付けたりするよう促し、思いやりの気持ちも育んでいく。

取組内容③

- ・今後も、いろいろな人との交流する機会を計画的にもち、人と関わることの喜びや楽しさ、嬉しさなどを感じられるような活動内容を考え、子ども同士のつながりや交流が、更に深まっていくよう、働きかけを工夫し連携を深めていく。
- ・小学校との交流活動について、教職員同士の関係性を築いていけるように働きかけいきたい。

令和6年度 学校関係者評価報告書

大阪市立海老江西幼稚園 学校協議会

1 総括についての評価

今年度の目標達成状況から、自己評価結果は妥当である。全ての取組について、保護者アンケートの結果が、大きく達成しており、実態に合わせた取組を実施することができている。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：【安全・安心な教育の推進】

- ① 今年度末の保護者アンケート調査で「子どもは生活の中で安全に過ごそうとする習慣が身に付いてきたと思いますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を80～85%以上にする。
- ② 今年度末の保護者アンケート調査で「幼稚園は子どもたちが互いの良さを認め合えるような指導をしていますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を80～85%以上にする。

○達成状況の評価に関しては妥当である。

○様々な想定や方法での避難訓練を積み重ねられた。情報を精査し、命を守る大切さや安全への意識を引き続き高めていってほしい。

○一人一人の実態に合った関わりを深め、今後も子ども同士をつなぐ関わりを深めていく。

年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 今年度末の保護者アンケート調査で「幼稚園は、子どもが様々な経験を楽しめるように努めていますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を85%以上にする。
- ② 今年度末の保護者アンケート調査で「年度当初と比べて子どもは基本的な生活習慣が身に付いたと感じますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を85%以上にする。

○達成状況の評価に関しては妥当である。

○子どもの実態や季節に合った環境構成などを行ったことで、子どもの興味や関心が広がり深まっている。

○保健指導やげんきカレンダー等を活用し、幼稚園と保護者が連携し、子どもたちの健康保持に努めている。

年度目標：【学びを支える教育環境の充実】

- ① 今年度末の保護者アンケート調査で「幼稚園は子ども一人一人を大切に理解しようとしていますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を85%以上にする。
- ② 今年度末の保護者アンケート調査で「子どもたちは絵本に関心や親しみをもっていますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を85%以上にする。
- ③ 今年度末の保護者アンケート調査で「子どもたちはいろいろな人と関わる中で、人への親しみや関わることを喜んでいきますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を85%以上にする。

○達成状況の評価に関しては妥当である。今後は「そう思う」の割合を高めていくとよい。

○今後も様々な絵本にふれられるような機会をもち、お話への興味や親しみを高めていく。

○地域の高齢者との交流では、高齢者にとっても喜びとなっている。引き続き、地域と連携し交流活動を深め、地域の中で育つ基礎となるようにすると良い。

3 今後の幼稚園運営についての意見

効果の出ている活動は今後も継続していくとよい。

教育活動に対して保護者からの評価は高い。具合的な取り組みを丁寧に知らせ、更に保護者の理解を得られるようにしていくと良い。また、併設園や小規模園の良さを生かした交流活動や教育内容の発信を、地域に知ってもらえるようにするとよい。